

工大コレクション展示

# 伴大納言絵詞

— 絵巻に見る応天門の変 —

展示期間：

2018年1月6日(土)  
— 3月31日(土)

展示場所：

工大図書館 大宮本館 (8号館)  
2階 学術雑誌室

展示資料：

「伴大納言絵詞」上・中・下巻  
(考古学会, 1910年)

※写真は本学所蔵資料、  
「伴大納言絵詞(考古学会, 1910年)上巻」より

「伴大納言絵詞」は、平安中期(貞観8年)清和天皇の世に大納言伴善男ともよしおが政敵の左大臣源信みなもとのまことを失脚させようと応天門に火を放ちその罪を負わせるが、陰謀が露見し失脚するという顛末(応天門の変)を絵巻としたもの。応天門の変から約300年後、後白河天皇の命により常盤光長が描いたと推測される。日本の国宝。(出光美術館所蔵)

本学所蔵の展示資料は「伴大納言絵詞」(考古学会, 1910年)です。

大阪工業大学図書館

